

## 画像 Web サイトの構築による効果的な土木教育の提案

### -土木ウォッチング & Discover Doboku-

東京都市大学 フェロー会員 ○吉川弘道

東京都市大学大学院 学生会員 高橋優輔

#### 1. はじめに

土木工学にて取扱う構造物は、道路/鉄道、空港/港湾、ダム/トンネル、地上構造物/地下構造物など多種多様の形態/形式を採る。さらには、平面的な広がる施設、線状施設（直線/曲線、立体/平面）、巨大造形物、搭状施設のようにも分類できる。一方では、このような多岐に亘る構造形式が土木工学の醍醐味であり、その構造美は土木界以外の方々をも魅了して止まない。

このため、土木工学の教育に際しては、実写による画像など視覚情報が重要/不可欠であると考え、筆者らは、2013年春にWebサイト「土木ウォッチング」を開設/主宰し、その後2014年9月にFacebookページを用いた「Discover Doboku -日本の土木再発見-」をスタートした。

本文では、これら2つのサイトの特徴と課題、および土木教育における効用と可能性を、実例を交えて議論するものである。

#### 2. 土木ウォッチング -インフラ大図鑑-

投稿型Webサイト「土木ウォッチング」は、土木構造物の画像と情報を伝えるポータルサイトで、2013年4月より開始した(図-1)。既に、官公庁・自治体、事業体、建設会社、コンサルタント、個人から300件程度の画像と技術資料の提供を受けている(2015年2月現在)。

選りすぐりの画像を通して、「土木構造物は重厚かつ華麗である」、「土木構造物は高機能かつ複雑である」ことを訴え、手応えを感じている。このサイトの機能分類では、「土木観光学事始め」、「土木夜景・イルミネーション」の分類も設定して、かなりの投稿数となっている。



図-1 土木ウォッチング -インフラ大図鑑-



図-2 事例1:PC 卵形汚泥消化タンク  
(提供: 鹿島建設)



図-3 事例2: シールド機械 (提供: 三菱重工)

キーワード: 画像教育、インフラ大図鑑、投稿型 web サイト、facebook ページ、土木構造物

連絡先: 〒158-0087 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学 災害軽減吉川研究室 TEL 03-5707-0104

### 3. facebook ページ:

#### Discover Doboku (日本の土木再発見)

土木ウォッチングの定着期に、Discover Doboku (日本の土木再発見) と題して facebook ページをスタートした。これは、既往記事の再掲載、および時宜に適った構造物を紹介する手段として有効である。お馴染みの‘いいね’機能は、閲覧数の指標として読取ることができ、かつ主宰者にとっては励みでもある。(これは、個人ベースの facebook ではなく、団体・企業・組織などに適した facebook ページであることがポイントである)。

図-3 に Discover Doboku の初期画面を示し、図-4 と 図-5 に紹介記事を例示した。

本サイトでは、土木関係者以外からの閲覧・いいね！が多く、社会インフラの機能と重要性を強調する一方で、理屈抜きにその華麗なフォルムを堪能することも大切であると実感している。

### 4. 今後の課題と展開

このような2本立て Web サイトを運用・活用して7カ月が経過したが、相乗効果を発揮し良好な運用状況にある。この場合、Web サイト土木ウォッチングは‘ストック’、Facebook ページ Discover Doboku は‘フロー’のような関係にあるとも考えられ、現在ではソーシャルメディアを活用した常套手段とも言える。

両サイトの運用は、社会インフラの主役たる土木構造物の正しい認知のための社会活動とも考えている。土木学会関係者に加えて、一般の方々(公共構造物の受益者)、さらには大学生/高校生へアピールすることに日々腐心している。

結語として、本活動のキャッチフレーズ(または、タグライン)を示したい。

土木構造物の醍醐味と魅力を伝え、

次世代に繋げたい:

-Infrastructure for the Next Generation-



図-3 Discover Doboku の初期画面



図-4 事例1:カッターフェイスモニュメント



図-5 事例2:高分解能衛星からの衛星画像

(C)DigitalGlobe